

# 週間市場レポート (2020年10月5日~10月9日)

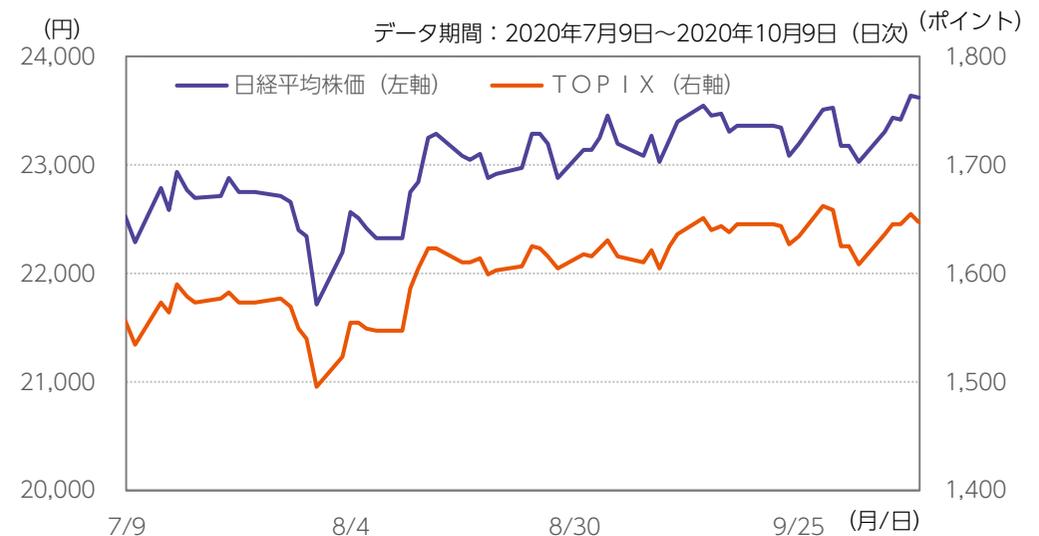
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末*2 2020/10/2	先週末 2020/10/9	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		23,029.90	23,619.69	2.56 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,609.22	1,647.38	2.37 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		27,682.81	28,586.90	3.27 ↗
S&P500種指数		3,348.44	3,477.13	3.84 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,190.93	3,273.12	2.58 ↗
S&P/ASX300指数		5,774.17	6,086.95	5.42 ↗
上海総合指数		3,218.05	3,272.08	1.68 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)**		873.88	902.62	3.29 ↗
東証REIT指数		1,717.77	1,729.17	0.66 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		690.03	697.79	1.12 ↗
ASX300 REIT 指数		1,309.10	1,341.80	2.50 ↗
グローバルREIT (除く日本)**		161.67	163.89	1.37 ↗
日本10年国債 (%)		0.022	0.036	0.014 ↗
米国10年国債 (%)		0.701	0.774	0.073 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.536	▲ 0.527	0.009 ↗
英国10年国債 (%)		0.246	0.280	0.034 ↗
ドル/円		105.29	105.62	0.31 ↗
ユーロ/円		123.39	124.93	1.25 ↗
英ポンド/円		136.24	137.68	1.06 ↗
豪ドル/円		75.42	76.47	1.38 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,221.12	2,398.04	7.97 ↗
WTI原油先物 (ドル)		37.05	40.60	9.58 ↗
CRB指数		144.12	151.74	5.28 ↗
アレリアンMLP指数		616.43	668.24	8.41 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

### ◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルスに感染したトランプ大統領が5日（月）に退院したことを受け、米国政治の先行き不透明感に対する警戒感が和らいだことなどから、週初より上昇基調となりました。8日（木）はおよそ8ヵ月ぶりの高値で取引を終えたものの、週末には短期間での上昇から利益確定売りもみられ、小幅に下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

\* 現地通貨ベース \* 1 ▲はマイナスを表します。 \* 2 上海総合指数は國慶節で休場のため9月30日のデータ。

≪ 債券 ≫

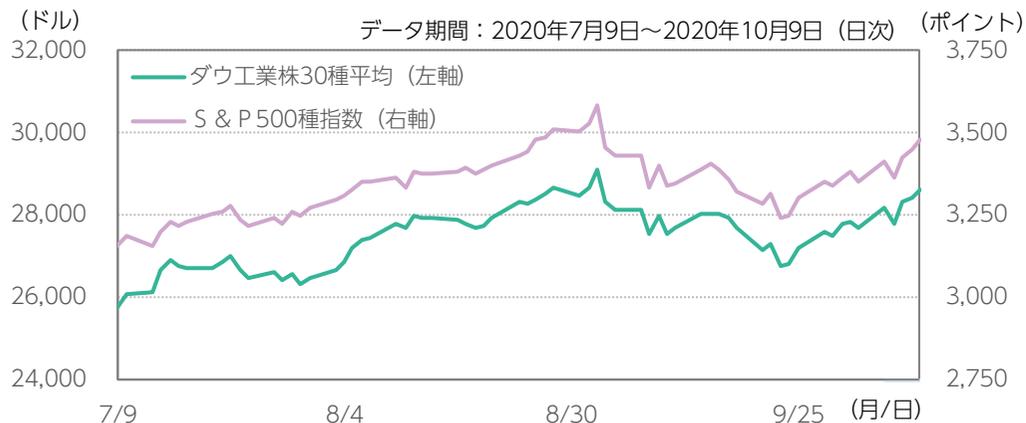
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。週初は、難航する米国の追加経済対策の協議が進展に向かうとの期待などから、投資家のリスク選好姿勢が強まり、債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。その後は、財務省による国債入札が債券需給の引き締まりを意識させる結果となったことから、債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

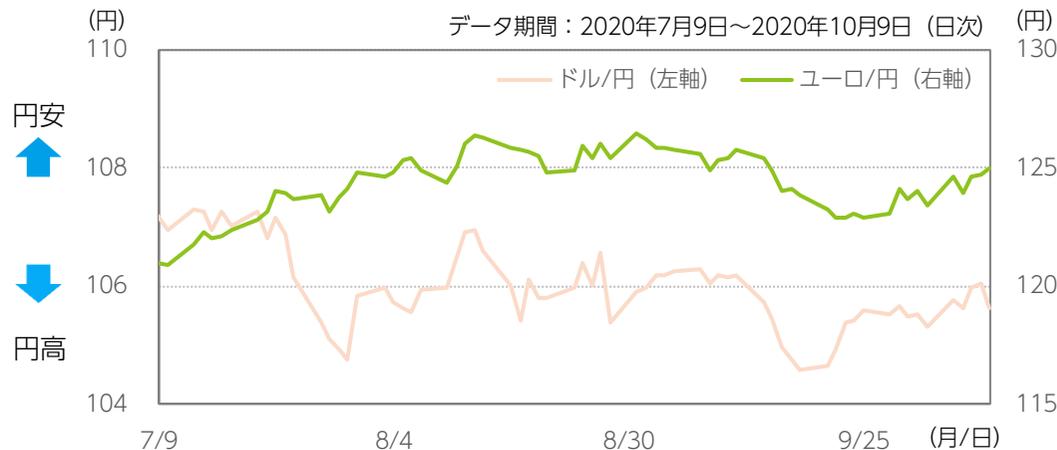
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。協議が進められている追加の経済対策の合意期待から週初は上昇となりました。その後は、トランプ大統領が協議を停止するよう求めたことから、一時下落する場面もあったものの、同氏が方針転換し、航空会社や中小企業向けへの追加支援について言及すると、米国景気の回復期待などから上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。新型コロナウイルスをめぐる米国の追加の経済対策の進展期待や、トランプ米大統領による中小企業などへの追加支援策に関する発言が好感され、米ドルは買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米国の追加経済対策をめぐる協議の進展期待から、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

追加経済対策や航空会社等への追加支援について、9日（金）に米国議会上院のマコネル院内総務が、民主・共和両党間での隔たりが大きく、大統領選までに合意は難しいとの見解を示したことから、再び米国景気の先行き不透明感が強まっているとみられます。トランプ大統領の新型コロナウイルス感染により、オンライン形式での開催が予定されていた第2回大統領候補者討論会は、同氏の参加拒否を受け中止となりました。第1回討論会では、トランプ、バイデン両候補による双方の誹謗中傷が多く、両候補の政策面についてはあまり触れられなかったため、来週22日（木）の最終討論会では両候補の政策面の主張が注目されます。

今週の株式市場は、大統領候補者最終討論会を前に様子見ムードが高まる中、追加経済対策合意への先行き不透明感が重荷となり、上値の重い展開となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>